

読者相談室

月一金曜9:30~18:00  
022(211)1447

配達問い合わせ

022(211)1302

支局

泉	仙台市泉区泉中央	022(373)6000	FAX 022(373)6015
多賀城	多賀城市東田中	022(361)5180	FAX 022(361)5181
塩釜	塩釜市新富町	022(367)1331	FAX 022(367)1507
志津川	南三陸町志津川塩入	0226(46)2640	FAX 0226(46)5671
登米	登米市迫町佐沼	0220(22)3172	FAX 0220(22)3440
若柳	栗原市若柳川南上堤	0228(32)5371	FAX 0228(32)2848

栗原	栗原市築館薬師	0228(22)3163	FAX 0228(22)1679
小牛田	美里町牛飼清水江	0229(33)2204	FAX 0229(33)3301
加美	加美町北町	0229(63)2115	FAX 0229(63)3597
岩沼	岩沼市桑原2丁目	0223(22)2215	FAX 0223(22)2792
大河原	大河原町幸町	0224(52)1173	FAX 0224(52)1182
白石	白石市鷹巣東4丁目	0224(25)2201	FAX 0224(25)2516
角田	角田市角田中島上	0224(62)1568	FAX 0224(62)0707

## 社会参加の状況、必要なサポートは？

# 高次脳障害 実態把握へ

2011年度までの3カ年で高次脳機能障害Ⅱの患者とその家族のネットワークづくりを目指す仙台市青葉区のNPO法人「ほつぶの森」が、同障害者の実態把握のためのアンケートに取り組んでいる。外見では分かりにくく「見えない障害」と呼ばれる同障害は診断が難しく、福祉サービス事業所の選択肢も少ない。ほつぶの森は、結果を基に支援ニーズを掘り起こし、自立と社会参加をサポートする支援体制も築く方針だ。

アンケートは、本人編と家族編の2パターンで実施している。本人編では現在の生活や社会参加の状況、障害者手帳の有無、必要としているサポートなどを質問。家族編では同様の項目をより詳しく尋ねている。

同障害者の支援モデル事業の拠点となった東北厚生年金病院(宮城野区)をはじめ、医療関係者、保健師らの協力を得て、9月末に始動した。10月中旬にはブログを開設し、電子メールでの回答もできるようにした。

アンケートと並行して県内7保健福祉事務所の圏域ごとに同障害者のグループインタビューを行い、受傷の原因やニーズの把握に努めている。

一連の取り組みは、NPO支援を目的に、せんだいみやぎNPOセンターと県が運用する基金「みやぎNPO夢ファンド」の助成を受けて実施している。

ほつぶの森は10年度、行政機関などが持つ情報をタイムリーに提供するシステムを構築し、講座を開催するなどして支援の輪の拡大を目指す。11年度は恒常的に情報の受け皿と発信源を担う同障害者ネットワーク会議(仮称)を設立し、課題や政策を国などに提言することを目標に据えている。

アンケートは、12月中旬まで行う。ほつぶの森の後藤まつき事務局長は「正確な実態を把握するために、より多くの人に協力してほしい」と話している。専用連絡先は090(1099)8051。

## 仙台のNPO アンケート 体制整備し自立手助け



高次脳機能障害 脳梗塞 (こうそく)などの脳血管障害、交通事故や転倒に伴う頭部外傷、脳炎、アルコール中毒などが主な原因とされる。記憶障害や集中できなくなるなどの注意障害、目的にかなった行動ができない、遂行機能障害など

が現れる。精神障害者保健福祉手帳の申請が可能。条件を満たせば介護保険の申請もできるほか、障害年金の受給対象になる。しかし、診断が難しく、変調に気付くのも遅れがちになり、障害者数の実態は把握し切れていない。